

【米田名譽主宰の俳句】

吾亦紅

米田規子

鳥渡るすつきり洗う皿三枚  
天高し枝をスパツと剪る鋏  
字を書いて時に顔上げ昼の虫  
ほんとうは叫んでみたい吾亦紅  
霜降や朝の大きなマグカップ  
野鳥来るとなりの柿の木たわわ柿  
秋冷の鍵盤に指まるく置く  
なつかしき顔あかあかと秋惜しむ  
葱を提げざわざわ日暮来ておりぬ  
秋夕焼楽譜に残る師のことば